



傳設計ニュースレター

CONTENTS

- ◆今、伝えたいこと
～不動産部を立ち上げて～
- ◆田川市立病院改修設計
- ◆食の安全性について
- ◆耐震化から長寿命化へ
- ◆無菌室・施工上の注意点
～空研工業株式会社～
- ◆採用は力なり
- ◆舞鶴探訪(11)
- ◆社員名鑑



今、伝えたいこと ～不動産部を立ち上げて～

新年明けましておめでとうございます。皆さまは年末年始をいかがお過ごしになられたでしょうか。新型コロナウイルスが流行りだした2年前、「収束まで3年～5年かかるのではないかと」申しておりましたが、本当にそのようになってきました。最近では強い感染力を持つと言われるオミクロン株が私たちの生活にどう影響するのか関心があります。日本ではワクチン接種が進んでおりますが、引き続き各々が感染症対策に努め、経済活動に弾みが付く年になるよう期待しております。

さて、遡ること2年。弊社は宅地建物取引業者としての登録を行い、不動産部を立ち上げました。このことで弊社は土地、建物探しから設計・監理まで一貫して対応ができるようになりました。設計事務所が擁する不動産部の最大のメリットは、購入前の土地にどのような建物が建てられるのか事前に検討できることです。他の不動産会社の方や施工会社の方と情報を共有しながら早くからお客さまとつながることで、ご信頼いただき、ご満足いただける建物のご提供を目指しております。

最近では「建売住宅」に力を入れ始めました。土地の購入から設計・監理、販売までを行おうとしているのです。以前の私は、設計事務所が住宅を手掛けることは難しいと考えていました。それは、小さな建物でありながら多くの要素が含まれている住宅は設計料が高くなりがちで、消費者の方々が設計事務所に依頼するメリットが少ないと考えていたからです。しかし、そうであれば、システムチェックに対応すれば、プリメイド設計を住宅に適用できるのではないかと考えるようになりました。住宅を購入される層の年齢層は下がっています。住宅ローンは35年、無理のない返済額を考慮し、家族構成は…と考えると、どのエリアでどの価格、どのような設計の住宅を販売すれば、ニーズがあるのか、自ずと見えてきます。設計事務所が手掛ける「建売住宅」として、皆さまに納得いただけるものを提供したいと考えております。

不動産部を立ち上げ、仕事の幅が広がりました。建売住宅以外にも水面下で動いております。土地・建物(近年、中古物件のニーズが高まっています)をお探しの方、土地等の情報をお持ちの方は、私まで情報をお寄せいただければありがたく存じます。(代表取締役 岩本 茂美)



★我が社に光り輝く！！
宅地建物取引業者票★

岩本 茂美 (いわもと しげみ)

株式会社傳設計 代表取締役

《最近のこと》

緊急事態宣言が明け、ゴルフや食事会のお誘いが増えました。社会的距離を保つでの交流ですが、皆さまの顔を拝見し、言葉を交わすだけでも大いに盛り上がりました。1月も年始挨拶等で予定がぎっしり詰まっております。皆さまとお会いできることを楽しみにしております。



★久々のゴルフコンパ★

★田川市立病院改修設計★

この度、田川市立病院の病棟の一面を緩和ケア病棟に改修を行う実施設計を受注しました。

実施設計に取りかかる前段として、病院の方々にご挨拶に伺った際、緩和ケアに精通される先生よりお聞きしたことを紹介させていただきます。



このお話を伺い、改めて、取り組む側として身が引き締まる思いがしました。福岡県下でも、地域によりこれだけの埋まらない差があることを実感しました。(藤田)



福岡県下において緩和ケア病棟を構えている病院は多く存在しますが、筑豊エリアとなる3医療圏(飯塚・嘉穂医療圏・直鞍医療圏・田川医療圏)には飯塚・嘉穂医療圏に2

棟あるのみで、他の医療圏には1棟も無い状況です。また、その2棟合わせても計38床しかなく、その病床数で3医療圏をカバーしていることとなります。

高齢化が進む田川市内で終末期を迎える患者さんは少なく無く、遠方の福岡市や北九州市にある緩和ケア病棟がある病院へ入院されることが多いのです。

今回行う緩和ケア病棟への改修は、田川市としても長年に亘り待ち望んでいたことであり、特別な想いを持ったプロジェクトなのです。



傳設計 設計業務

NEW&HOT

TOPIX

最近、弊社では、給食センターの設計に携わっています。学校給食センター方式による共同調理について調べていくと、徹底した衛生管理の基準があるということを知り、驚きました。

令和3年6月から、原則として、全ての食品等事業者はHACCP(ハサップ)に沿った衛生管理に取り組むことになりました。HACCPとは、簡潔に言いますと、食中毒や異物混入を防ぎ、アレルギーに対応するための工程を管理し、安全性を確保し

ようとする衛生管理の手法です。そのため、最新の学校給食衛生基準では、施設内で汚染エリアと非汚染エリアを完全に切り離し、人の出入りが容易にできない仕組みになっています。調理したものだけがエリア間を移動でき、人の動線は限定されます。また、調理服についたゴミやチリ、髪の毛なども、「エアシャワー」という空気吹き出し口を持つ専用の出入り口を通して、調理室に持ち込まないという工夫がなされています。



かつて、何気なく食べていた給食ですが、今はこれだけの配慮・工夫がなされているのかと驚きました。そう考えると、給食センターを設計することは、利用者の皆さまに食の安全と安心を提供することだと思いました。

関係者の方々との打ち合わせから、給食の安全に対する強い想いが伝わってきます。その方々が使いやすく、また、安全で安心な食を提供できる給食センターを作りたいと強く思っています。(上野)



★外観(イメージ)★



★給食室(イメージ)★

★食の安全性について★

★耐震化から長寿命化へ★

『耐震』という言葉をあらゆるところで耳にするようになりましたが、『耐震補強工事』はかなり前から進められてきました。多くの小学校や中学校で窓の前に『X型』や『V型』の部材を見たことはありませんか。これは耐震補強工事で多い『ブレース』と言われる補強部材です(右側の写真がブレースです)。

耐震補強工事が進みつつある現在、多くの小学校や中学校では増築工事が進められています。増築工事を行うためのポイントとして、す

でに建っている建物が安全であることが必要です。弊社も増築を行う某小学校について数年前に安全性の検討を行いました。

耐震補強をしているから大丈夫じゃないの?と疑問に思われるかもしれませんが、耐震補強というのは地震の揺れに対して検討を行うものです。

一方、既存建物の安全性は、平常時における検討を行います。

建物の設計を行うために守るべき『建築基準法』というのは常に改訂や追加が繰り返され、例えば平成元年に当時の建築基準法を満足して設計されていても令和3年時点の建築基準法を満足しているとは言い切れません。特に、旧耐震と言われる昭和56年より前の建物は現在の基準で検討を行うと補強が必要という結果になりやすいのです。

数年前に検討を行った小学校も

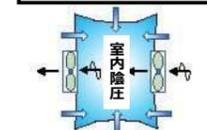
『現在の基準』では、補強が必要という結果となりました。『現在の基準で検討を行い安全である状態』とするために、引き続き補強設計を行い、実際に補強工事も行われています。

建物は、『古くなったから建替える』のではなく、適切に補強や改修を行い、『安全に長く使い続ける』長寿命化へ意識が変わろうとしています。(堀内)



★耐震補強部材★

給気量 < 換気量



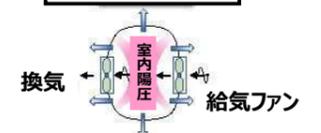
★陰圧イメージ図★

今回は手術室等に活用される無菌室を施工されている空研工業株式会社さんにお話を伺いました。

『無菌室とは清浄度管理が行われている限られた部屋です。空気中における浮遊微粒子、浮遊微生物及び分子状汚染物質が限定された清浄度レベル以下に管理されます。また、その部屋に供給される材料、薬品、水等についても要求される清浄度が保持され、更に温度、湿度、圧力等の環境条件も管理ができます。無菌室は、清浄度を保つため微粒子及び細菌を入れない、もしくは極力排除する必要があります。その方法は、まず部屋の圧力を制御します。無菌室は用途に応じ、陽圧(微粒子等の侵入を防ぐため部屋の空気を押し出す)または陰圧(微生物や細菌等の空気を外部へ出さない)

にします。圧力が強いとドアの開閉に支障をきたし開口部から風切り音が発生し、弱すぎると微粒子の侵入、細菌の流出等の恐れがあります。そのため無菌室内の室圧を室外よりも10~20Pa程度高く(低く)設定し、無菌室内を正常に保ちます。次に換気口にフィルターを設置します。部屋の中で発生した微粒子及び微生物等を含む空気は、部屋に設置している循環換気口より吸い込まれ、空調機を通して空調され、吹出口(HEPAフィルター搭載)より吹出します。その際、微粒子及び微生物はHEPAフィルターにて捕集さ

給気量 > 換気量



★陽圧イメージ図★

れます。フィルターは非常に詰まりやすいため、施工する際はメンテナンスを考慮し、フィルター交換しやすい場所に設置する必要があります。脚立等を利用してフィルター交換作業ができるよう、事前の打ち合わせが重要となります。』

「無菌」というだけあり細心の注意を払っての施工が必要です。高い技術力を持つ空研工業さんだからこそ取り扱うことができると思いました。その他、空調に関する多くの実績もお持ちです。お困りごととはご相談されてはいかがでしょうか。(藤田)

★無菌室・施工上の注意点 ~空研工業株式会社~★

★採用は力なり★

題名からも分かるように、傳設計は採用に力を入れています。ホームページには、採用に対する社長の想いがたくさん書かれています。これは設計事務所には珍しいことのようにです。なぜ採用に力を入れているのか。それは若手社員の持つ力に大きな可能性を感じているからです。傳設計がこれまで培ってきた技術や考え方やノウハウを若手社員に伝え、彼らはそれを必死に理解し、自分のものにしていきながら力を蓄えていきます。この力こそが会社の成長につながっていると考えています。また実際に社員が「後輩が入ってくる前に少しでも技術を身に付け成長したい」「年の近い先輩社員がいるので自分の具体的な目標が立てやすい」と前向きに話しているのを聞き、社員にも好影響を与えていると感じています。新卒採用を始めて11年目になりますが、12年目も引き続き行っていきます！（平野）

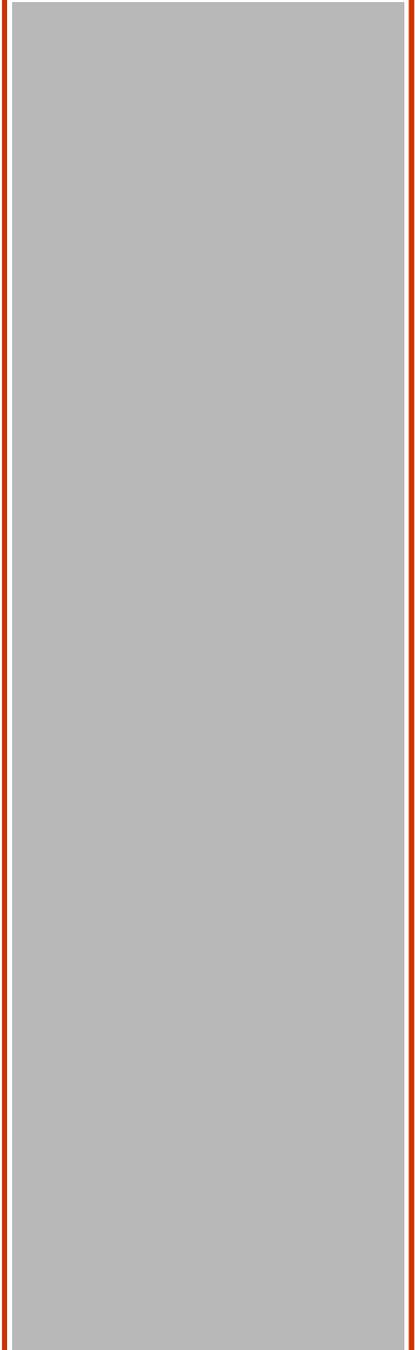


★インターンシップにも力を入れています★



★今秋のインターンシップの様子★

社員名鑑 vol.41



★舞鶴探訪（11）焼肉 鼎豊（テイホウ）

弊社の近くにある焼肉屋さん、「焼肉鼎豊」さんをご紹介します。こちらは弊社から徒歩4分。ビルの1Fにある焼肉屋さんで、社長行きつけのお店です。今回は社長と取締役とランチに行っていました。

「せっかくだから食べたいものを食べましょう！」と、社長と取締役は焼肉定食（左上）を、私は一番人気という「おまかせ定食」（右上）を頂きました。その日のおまかせ定食はサシがたっぷり入ったA5ランクの仙台牛。上質な脂がのったお肉を三種のタレでおいしくいただきました。因みにどのランチにもミニサラダとスープが付き、バランスもよかったです。



★また伺いたいです★

A5ランクの仙台牛がランチで税込み990円。お得でおいしく、社長が行きつけになるものよく分かりました。私たちが出る頃にはほぼ満席になっていました。人気店です。ランチも夜も営業されています。お近くにお越しの際は、ぜひ行かれてください。（古屋）

＜お店情報＞
焼肉 鼎豊（テイホウ）
福岡市中央区
舞鶴1丁目3-14 1F
092-753-8157

◆ 編集後記／／令和4年は十干が「壬（みずのえ）」、十二支が「寅」の年にあたるので、干支は「壬寅（みずのえとら）」です。「壬寅」は、厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるという意味があるそうです。本年が皆さまにとっていい一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。／アンケートを同封しておりますので、ニュースレターのご意見、ご感想をお聞かせいただけましたら、幸いです。ごきげんよう。（古屋）



「想い・安全・未来をカタチに」
株式会社 傳設計
DEN ARCH. & ENG. OFFICE

〒810-0073

福岡市中央区舞鶴1-6-13 舞鶴DSビル

TEL:092-737-1500（代表）

FAX:092-737-1501

